



はるかちゃんからあすけへ
咲かせよう 希望の花



はるかひまわり絆プロジェクト

【はるかひまわり】
平成7年1月17日大きな地震が神戸を襲いました。木造の建物は、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされていました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。震災から半年後、はるかちゃんの家があった空き地。はるかちゃんの遺体を発見した場所には驚いたことに、無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向けて咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。
『はるかひまわり』

【はるかひまわりの配布活動】
はるかちゃんと同級生の娘さんを持つ藤野芳雄さんは、はるかちゃんを助け出せなかった悔しい思いから、はるかひまわり、を全国へ普及させる活動を愚直に続けてこられた、はるかひまわり、の生みの親です。「はるかひまわり絆プロジェクト」も藤野芳雄さんの真摯な思いから生まれた活動です。藤野芳雄さんは2012年11月に逝去されましたが、ご冥福を祈りつつ、向日葵の種の配布活動を継続してゆきたいと思っております。



「心豊かな地域社会を創造する はるかひまわり絆プロジェクト」

こころの結は、2021年8月からこのプロジェクトに参加させていただいています。「はるかひまわり」を通して地域の方々と笑顔でつながりたいと思い、活動を続けています。お気軽にお立ち寄りください。 2022年8月 社会福祉法人結の会 こころの結